

平成 24 年 5 月 8 日

各 位

西日本シティ銀行
NCB リサーチ & コンサルティング

2012 年度 九州・山口地区の新入社員意識調査アンケート結果 ～ 新入社員は人間関係重視 ～

西日本シティ銀行グループは各種の調査を継続して実施しております。

今般、連結子会社である NCB リサーチ & コンサルティングが毎年 4 月を中心に行っております、新入社員向け公開セミナー及び企業内研修に参加いただいた、九州・山口地区の新入社員 1,065 名(275 社)を対象としたアンケート調査の結果がまとまりましたので、2012 年度の新入社員意識調査としてご報告いたします。

【 アンケート結果概要 】

今回のアンケート結果から、新入社員が会社にもとめるものは「人間関係の良さ」が 1 位で 74.6%、仕事や生活に対する不安は、「上司・先輩・同僚との人間関係」が 2 位で 56.2%と、人間関係を重視していることがうかがえる。

1. 就職先が「希望どおり」は 52.7%、「ほぼ希望どおり」は 39.5%、「希望どおりでない」は 7.8%であった。
2. 就職先を決める時に重視したことは、「仕事にやりがいがある」が 1 位で全体の 40.0%、「会社の雰囲気・イメージ」が 2 位で 34.3%、「業種・事業内容」が 3 位で 33.6%であった。
3. 働く目的は、「生活の安定」が 1 位で全体の 68.3%、「自己成長」が 2 位で 59.3%、「やりがい」が 3 位で 40.0%であった。
4. 給料と残業に対する考え方は、「残業は多くても、給料が多いほうがよい」が全体の 55.8%、「給料は少なくても、残業がないほうがよい」が 44.2%であった。

詳細は添付の資料をご参照下さい。

【 本件に関するお問い合わせ先 】

NCB リサーチ & コンサルティング 調査部 原 TEL : 092 - 282 - 2662
〒812-0027 福岡市博多区下川端町 2 番 1 号 博多座・西銀ビル 13 階

調査概要

1. 調査の目的

職業等に関する新入社員の意識状況を調査し、傾向を把握すること

2. 調査期間

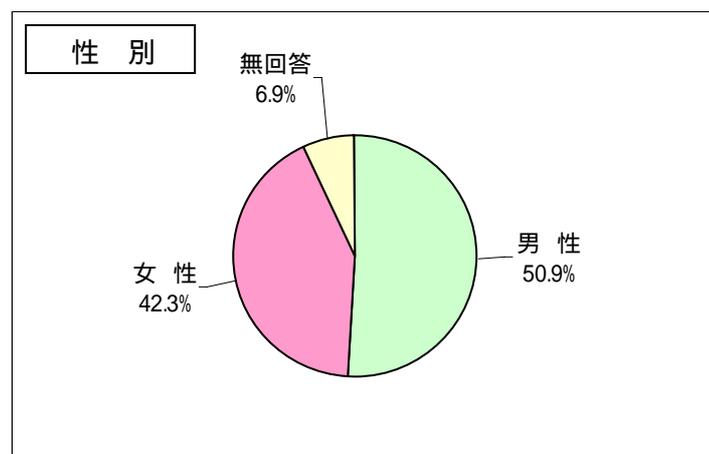
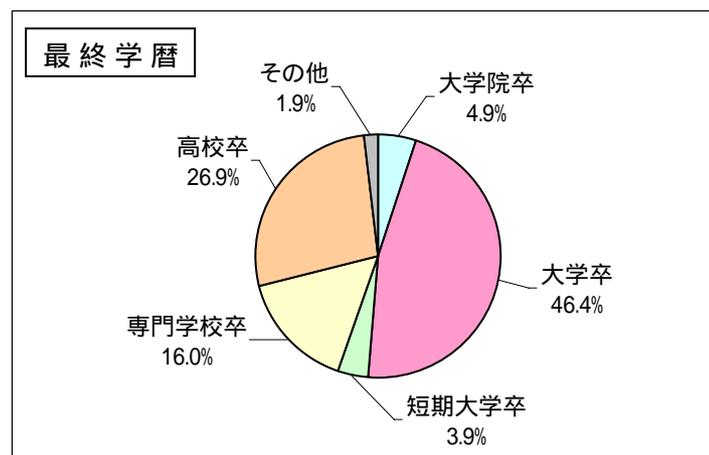
2012年3月30日～4月18日

3. 調査対象

2012年春に就職した新入社員で、NCB リサーチ & コンサルティングの新入社員公開セミナー及び企業内研修の参加者 1,065 名 (275 社)

研修開催地

公開セミナー (19 コース) : 福岡市、北九州市、久留米市、飯塚市、長崎市、熊本市、宮崎市
企業内研修 (6 コース) : 福岡市、佐賀市、大分市



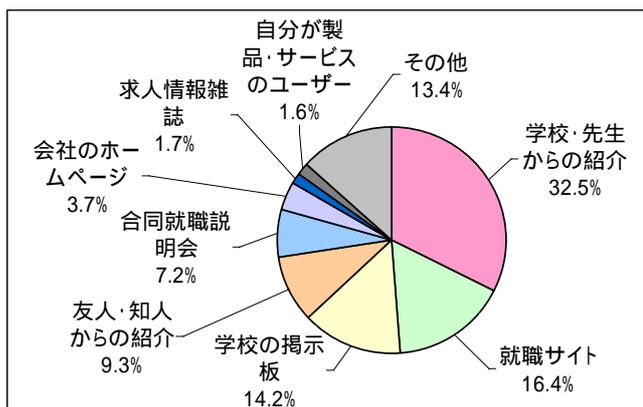
4. 調査方法

アンケート用紙の配布・回収 (新入社員公開セミナー・企業内研修時)

【アンケート結果】

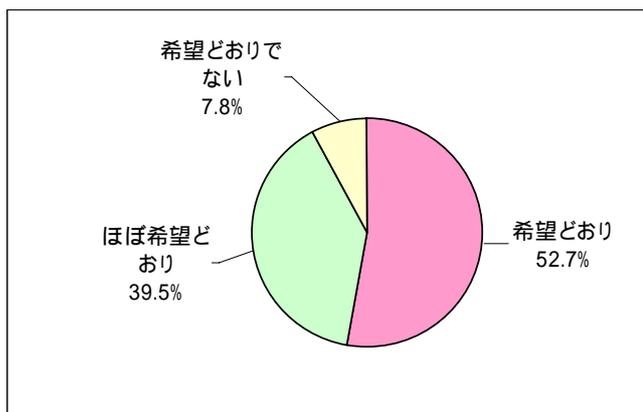
1. 就職先を知った最初のきっかけ（1つ選択）

就職先を知った最初のきっかけは、全体では「学校・先生からの紹介」が32.5%で1位、「就職サイト」が16.4%で2位、「学校の掲示板」が14.2%で3位であった。高校及び専門学校卒では「学校・先生からの紹介」がそれぞれ55.8%、47.0%で1位、大学院及び大学卒では「就職サイト」がそれぞれ28.0%で1位であった。



2. 希望している会社に就職できたか（1つ選択）

全体では「希望どおり」が52.7%、「ほぼ希望どおり」が39.5%で、「ほぼ希望どおり」までで90%を超える結果であった。高校及び専門学校卒では「希望どおり」が60%を超える結果であった。

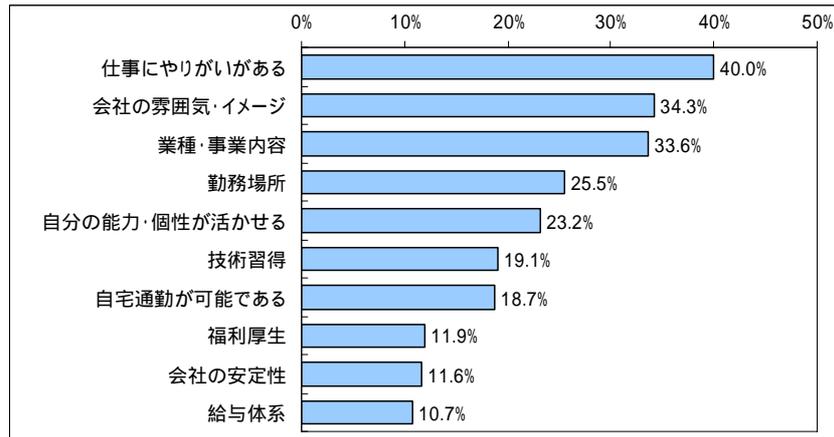


【コメント】

「ほぼ希望どおり」までで92.2%と、厳しい就職戦線を勝ち抜いてきたことへの満足感がうかがえる。

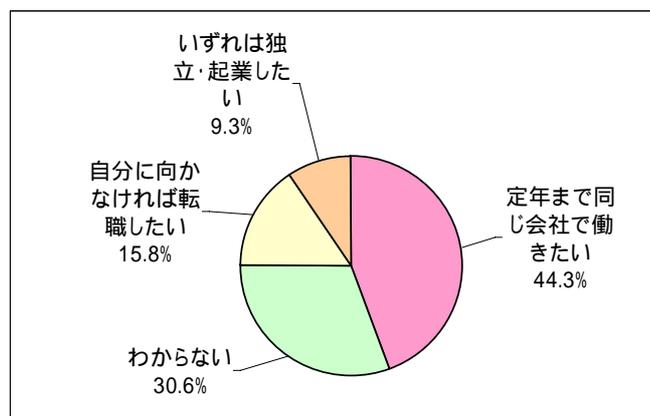
3. 就職先を決める時、重視したもの（3つまで選択）

全体では「仕事にやりがいがある」が40.0%で1位、「会社の雰囲気・イメージ」が34.3%で2位、「業種・事業内容」が33.6%で3位であった。個別の1位は、大学院卒では「業種・事業内容」が59.6%、大学卒では「仕事にやりがいがある」が42.0%、短大卒では「自宅通勤が可能である」が46.3%、専門学校卒では「仕事にやりがいがある」が40.5%、高校卒業生では「仕事にやりがいがある」が36.0%であった。



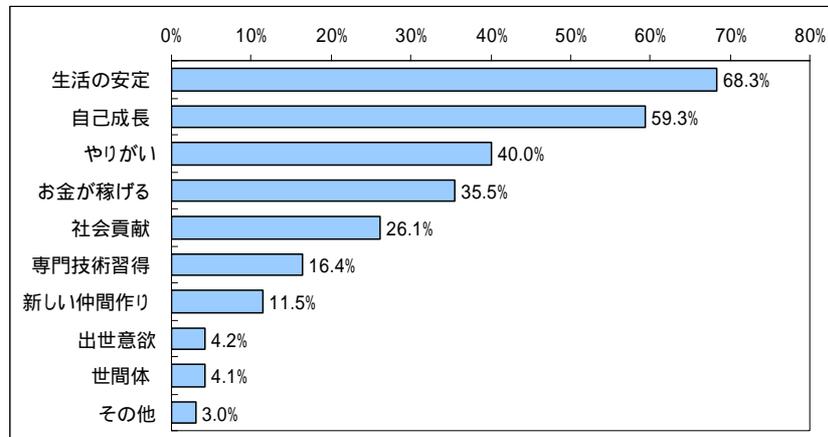
4. 就職した会社に定年まで働きたいと思いますか（1つ選択）

全体では「定年まで同じ会社で働きたい」が44.3%で1位、「わからない」が30.6%で2位、「自分に向かなければ転職したい」が15.8%で3位、「いずれは独立・起業したい」が9.3%で4位であった。短大卒では「わからない」が36.6%で1位、「自分に向かなければ転職したい」が29.3%で2位、「定年まで同じ会社で働きたい」が26.8%で3位という結果であった。



5. あなたにとって働く目的は何ですか（3つまで選択）

全体では「生活の安定」が68.3%で1位、「自己成長」が59.3%で2位、「やりがい」が40.0%で3位であった。

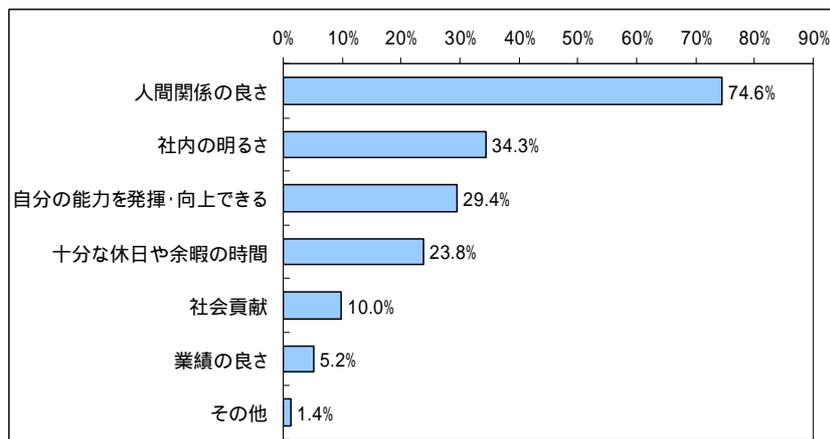


【コメント】

かつてのような経済成長が望めないことを背景に、若者の安定志向と、自己成長に対する思いがうかがえる。

6. あなたが会社に求めるものは何ですか（2つまで選択）

全体では「人間関係の良さ」が74.6%で1位、「社内の明るさ」が34.3%で2位、「自分の能力を發揮・向上できる」が29.4%で3位、「業績の良さ」は5.2%で選択肢の中では最下位であった。個別では、「自分の能力を發揮・向上できる」が大学院卒では48.1%、大学卒では32.6%で、それぞれ2位という結果であった。

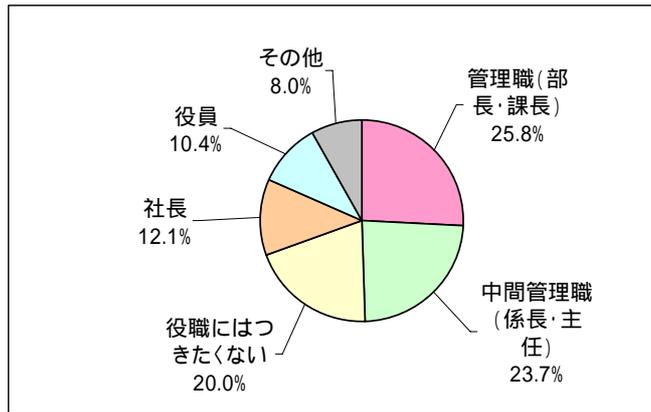


【コメント】

若者が自ら道を切り拓くというより、周囲に受け入れられること、馴染むことを重視していることがうかがえる

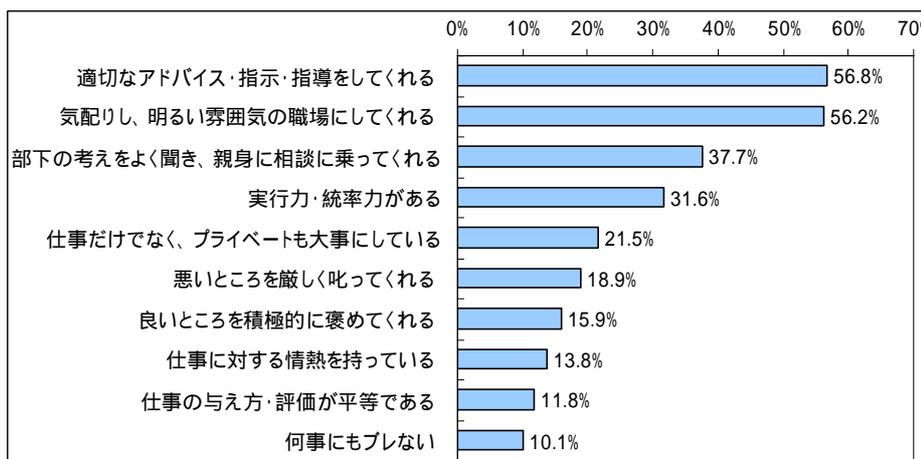
7. 将来、どのポジションに就きたいですか（1つ選択）

全体では「管理職（部長・課長）」が25.8%で1位、「中間管理職（係長・主任）」が23.7%で2位、「役職には就きたくない」が20.0%で3位であったが、上位は拮抗した結果となった。大学院卒では、「管理職」が32.7%で1位、「社長」が21.2%で2位であったが、高校卒、短大卒、専門学校卒では「中間管理職」・「役職には就きたくない」が上位を占めた。



8. あなたにとって理想の上司に近いものはどれですか（3つまで選択）

全体では「適切なアドバイス、指示、指導をしてくれる」が56.8%で1位、「気配りし、明るい雰囲気職場にしてくれる」が56.2%で2位、「部下の考えをよく聞き、親身に相談に乗ってくれる」が37.7%で3位であった。「仕事に対する情熱を持っている」は13.8%で下位であった。



9. あなたにとって理想の上司のイメージに合う有名人は誰ですか（男女1名ずつ）

全体では、男性有名人の1位は「所ジョージ」、2位は「イチロー」、3位は「阿部寛」であった。女性有名人の1位は「天海祐希」、2位は「真矢みき」、3位は「江角マキコ」であった。

（男性）

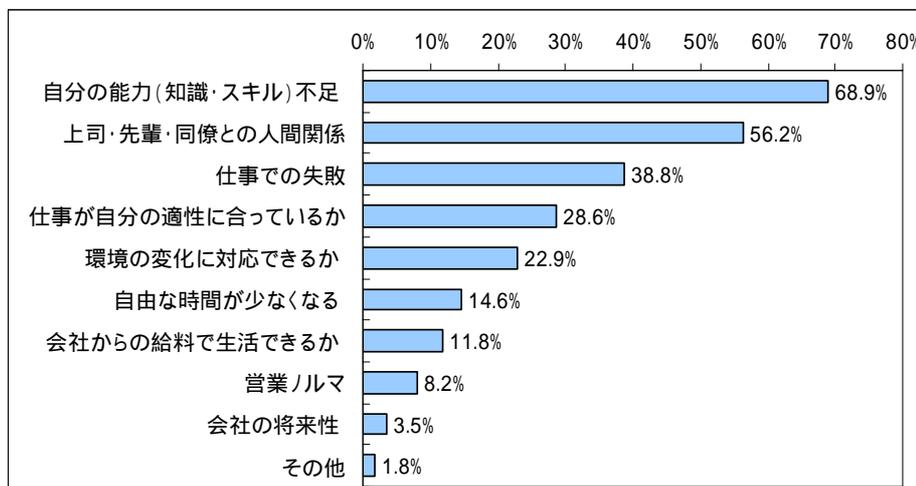
1	所 ジョージ	43
2	イチロー	32
3	阿部 寛	25
4	タモリ	20
5	北野 武	18
6	明石家 さんま	17
7	池上 彰	16
8	佐藤 浩市	15
9	館 ひろし	14
10	大泉 洋	12

（女性）

1	天海 祐希	98
2	真矢 みき	71
3	江角 マキコ	49
4	和田 アキ子	30
5	松嶋 菜々子	29
6	篠原 涼子	27
7	黒木 瞳	16
7	ベッキー	16
9	仲間 由紀恵	14
10	竹内 結子	12

10. 仕事や生活に対する不安は何ですか（3つまで選択）

全体では、「自分の能力（知識・スキル）不足」が68.9%で1位、「上司・先輩・同僚との人間関係」が56.2%で2位、「仕事での失敗」が38.8%で3位であった。「会社の将来性」は3.5%で選択肢の中では最下位であった。上位3位までは、最終学歴にかかわらず、すべて同じであった。

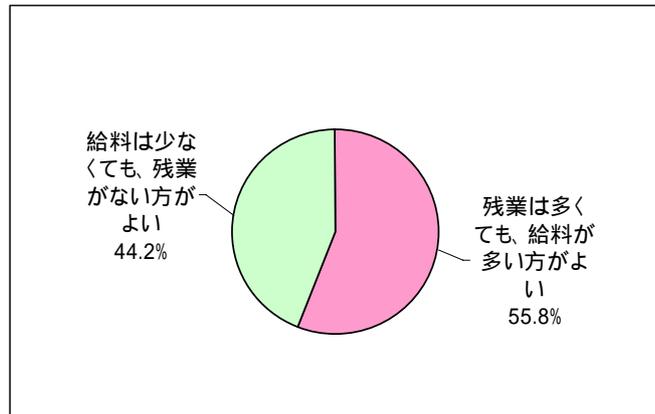


【コメント】

就職戦線を勝ち抜いたにしては、自分の能力と対人関係には自信が持てないと自己分析していることがうかがえる。

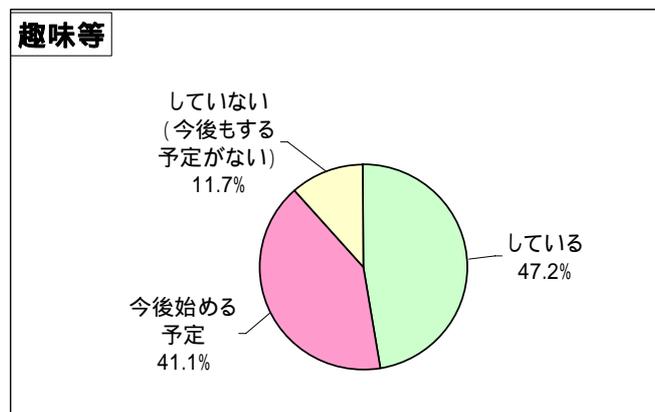
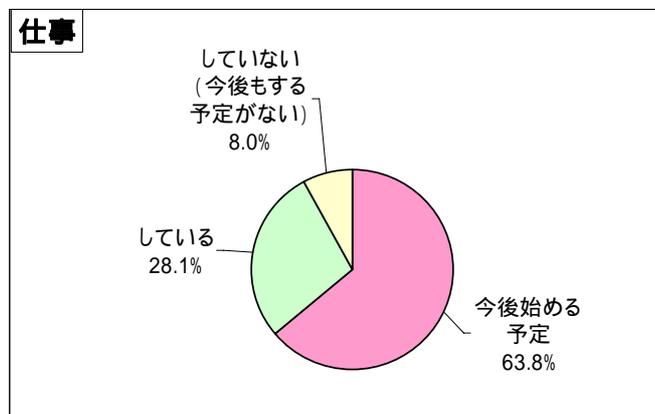
11. 給料と残業に対するあなたの考え方はどちらですか（1つ選択）

全体では「残業は多くても、給料が多い方がよい」が55.8%、「給料は少なくても、残業がない方がよい」が44.2%であった。高校卒、専門学校卒は「残業は多くても、給料が多い方がよい」がそれぞれ70.7%、59.0%であったが、大学院卒生、大学卒、短大卒は「給料は少なくても、残業がない方がよい」がそれぞれ51.9%、52.2%、55.5%であった。



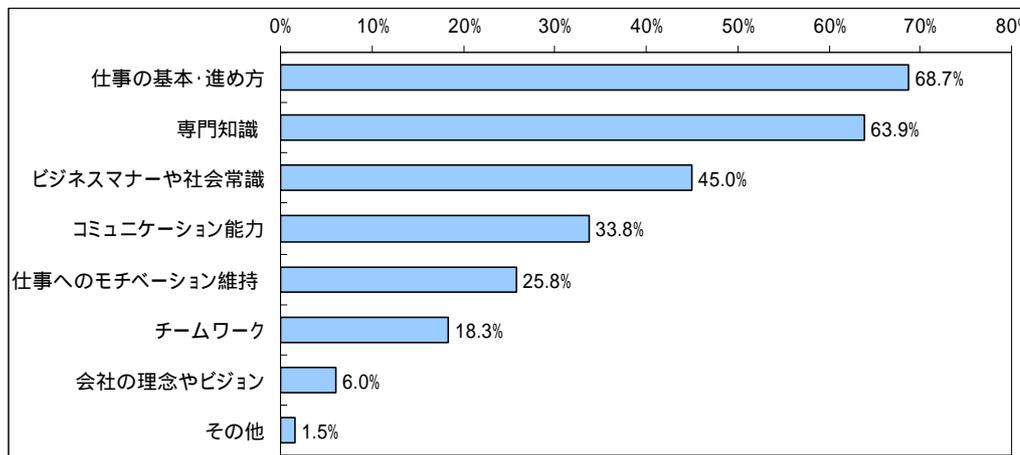
12. 自分の能力向上のために何かしていますか（仕事・仕事以外でそれぞれ1つ選択）

全体では仕事に関することは「今後始める予定」が63.8%、「している」が28.1%、「していない（今後もする予定がない）」が8.0%であった。仕事以外に関することでは、「している」が47.2%、「今後始める予定」が41.1%、「していない（今後もする予定がない）」が11.7%であった。



13. 入社後、指導・教育してもらいたいことは何ですか（3つまで選択）

全体では「仕事の基本・進め方」68.7%で1位、「専門知識」が63.9%で2位、「ビジネスマナーや社会常識」が45.0%で3位であった。個別では、大学院卒、専門学校卒では「専門知識」が1位、大学卒、短大卒では「仕事の基本・進め方」が1位であった。「会社の理念やビジョン」は6.0%で選択肢の中では最下位であった。



<最後に>

厳しい就職戦線乗り越えて入社した新入社員ですが、今回のアンケートで、人間関係や自分の能力に対する不安の大きさがわかりました。

内閣府は今年3月、就職しても3年以内に離職する人の割合が3割を超えると推計結果を発表しました。早期の離職は、社員および会社双方に大きなダメージをもたらします。

育ってきた環境によって人間の価値観は異なります。新入社員に対しては、自らの価値観のみを押し付けるのではなく、新入社員の意識や心の不安を十分に理解したうえで、サポートすることが大切ではないかと思えます。

本調査結果が、その一助になれば幸いです。

- ご利用に際して -

本資料は、アンケートに基づき作成しましたが、当社はその正確性を保証するものではありません。本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。本資料は、著作権法に基づき保護されています。引用する際は、必ず出所：NCB リサーチ&コンサルティングと明記してください。本資料の全文または一部を転載・複製する際は当社の許諾が必要です。